

# 日々 往来

岡本 敏男



「円」とい  
うお金の単位  
が誕生して今  
年6月27日で  
150年がた

ちました。明治4年(1871  
年)に「新貨条例」が制定され、  
江戸時代以来の両、分、文など  
の複雑な通貨体制を改め、円を  
基本とする十進法の貨幣単位を  
採用し、金1・5匁＝1円とし  
た近代洋式の新しい貨幣が発行

## 150歳を寿(ことほ)ぐ

されました。

その後、明治初期や第二次世  
界大戦後など激しいインフレに  
見舞われた時期を経ながらも、  
円という通貨は国内で日常的・  
安定的に用いられ続け、今や米  
ドル、ユーロに次ぐ国際通貨の  
一つにもなっています。その道  
のりを振り返ると感慨深く、今  
後ともわが国経済・社会発展の  
基盤としてさまざまな課題を克  
服しながら、円への信用・信認  
を維持していくことの大切さに  
意を強くするところです。

を「1円」ということがあった  
▽日本初の造幣機械を英領香港  
から譲り受けたので香港銀貨の  
「1円」という名称を採用した  
—などの説があります。火災で  
制定当時の公文書が失われ、詳  
しい経緯は謎のままです。

謎といえば、明治29年に完成  
した日本銀行本店本館の建物を  
上から見ると「円」という形に  
見えますが、「当時のお金には  
旧字体の『圓』が使われており、  
偶然の一致である」というのが  
公式見解です。もっとも、当時

さて、なぜ「円」となったか  
については、貨幣の形を全て円  
形に統一したため「円」と名付  
けた▽中国では西洋の円形銀貨  
を「銀円」「洋円」と呼ぶこと  
が幕末に日本に伝わり「1両」  
(日本銀行鳥取事務所長)

「円」という略字も広く使用さ  
れていたという説もあり、「設  
計した辰野金吾博士のしゃれっ  
気では」と想像力をたくましく  
するのですが、真相やいかに。